



株式会社 FORCUM

斬新なアイデアで 無動力消毒ゲートを開発 防疫対策の普及に貢献

無動力・簡易設置・低コスト。口蹄疫などの家畜伝染病を二度と起こさせたくないという思いから、電力を必要としない画期的な車両消毒用ゲートが完成しました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



簡易消毒ゲート製作機器導入で 量産化へ

自社で消毒ゲートを製作できるようになり、製造人員を1名確保。その結果として、ある程度の量産に対応できる体制を整備することができました。

二度と悲劇を 起こしたくないんです

設 置価格が従来型の消毒ゲートに比べて格段に安く、ランニングコストは消毒液代だけという画期的な消毒ゲート。このゲートを開発したのは、2010年に発生した口蹄疫に胸を痛めた嶋田社長です。

「当時、私はボーリング事業を営んでいたのですが、たくさんのお客様の家畜が殺処分になりました。かける言葉も見つからないような状況で、廃業を余儀なくされた方もたくさんいらっしゃったんです。

社 長自らのアイデアで開発した消毒ゲート。特許は保有しているものの、製造工場や設備を保有していなかった同社は、ものづくり補助金を活用して、ゲート制作に必要な機器を導入しました。「それまで手作業で行って

いた作業を機械でできるようになったことで、かなり労力が減りましたし、1台当たりの制作時間も短縮できました。自社製作体制が整ったことである程度の量産にも耐えられるようになったので、これからは畜産農家さんのためにどんどん貢献していきたいですね」と嶋田社長。



農家の方からの「飼料車が通れるものはないか」の声を受け、大型の簡易消毒ゲートを試作中です。



Q1 どのような機器を導入されたのですか？

A 油圧式アングル加工機やプラズマ切断・直流アーク溶接兼用機など13の機器を導入しました。これまでは試作機製造は外部に委託していましたが、おかげで実機の自社製造体制を整備できました。

Q2 農家さんの反応は？

A 石灰だと雨で流れてしまい消毒効果が続かないが、この消毒ゲートだと天候に関係なく消毒できるので、安心感があると言っています。鳥インフルエンザが発生した際にも問い合わせがあるなど、引き合いが増えてきています。

Q3 今後の展望は？

A 今後、需要が増えてくれば宮崎の業者さんと手を組みながらさらなる量産を図っていきたいですね。口蹄疫の被害を被った宮崎の地から、世界の防疫に貢献できれば最高です。



F ORCUMが開発した消毒ゲートは、経営資源にゆとりがなく防疫対策に十分な資金が掛けられない小規模農家への普及を意識しています。

消毒ゲートであれば1台15万円程度。さらに通過する車両の自重で動作するために電気代などの動力費はゼロ。消毒液の散布もタイヤ回りに絞っているのです、1/3程度で収まるんです。将来的には国内のみならず、世界的な防疫対策に貢献していきたいですね」

〈代表取締役社長〉

嶋田 順一
しまだ じゅんいち【座右の銘】
思うまま、
好きにように

Case 20 金属製品製造業
株式会社 FORCUM (フォーカム)

〒886-0004 宮崎県小林市細野284-8 TEL 0984-27-4788

